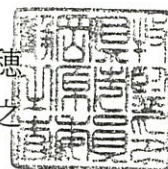




牧 監 第 5 1 号
令和5年8月18日

牧之原市長 杉本 基久雄 様

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂
同 原口 康之



令和4年度牧之原市水道事業会計決算の審査意見書について（提出）

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、審査に付された令和4年度牧之原市水道事業会計の決算及び附属書類について、牧之原市監査基準（令和2年牧之原市監査委員訓令第1号）に基づいて審査したので、次のとおり意見書を提出します。

令和4年度

牧之原市水道事業会計決算審査意見書

牧之原市監査委員

令和4年度 牧之原市水道事業会計決算審査意見

第1 審査の種類

決算審査（地方公営企業法第30条第2項）

第2 審査の対象

令和4年度牧之原市水道事業会計歳入歳出決算

第3 審査の着眼点

決算その他関係諸表等の計数の正確性を検証するとともに、予算の執行又は事業の経営が、適正かつ効率的に行われているか。

第4 審査の主な実施内容

審査に当たっては、水道事業会計の決算書、財務諸表及びこれらに関する附属書類（地方公営企業法第30条第9項の書類）について、関係法令に準拠して作成され、その会計処理が適正に行われているかを関係諸表等と照合し計数の確認を行った。

また、財政状況及び予算の執行状況については、関係職員から説明を聴取し、審査の着眼点に基づき審査を実施した。

第5 審査の実施場所及び日程

牧之原市役所 榛原庁舎6階会議室2

令和5年7月28日（金）

第6 審査の結果

審査に付された令和4年度決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数及び会計処理は正確であり、令和4年度の財政状況及び経営成績を適正に表示しているものと認められた。

審査の意見及び決算の概要は、後述のとおりである。

第7 審査の意見

収益的収入の大部分を占める給水収益は、一般用及び大口企業の使用水量が共に減少したことで、前年度と比べ0.02%の減額となった。また、収益的支出の総額は、量水器の取替が減少したものの、電力費の高騰により平年と比べ動力費が増加したため前年度比0.03%の減に留まり、その結果、収益的収支においては1,602千円の純損失となり、昨年度の純利益6,707千円から8,310千円の減となった。

今後、サービスの提供に必要な施設等の老朽化に伴う更新投資の増大や、人口減少に伴う料金収入の減少等、経営環境も更に厳しさを増しつつある。経営環境の変

化に適切に対応し、経営経費の削減や計画的な施設更新に努めるとともに安全安心な水道水の安定供給共有や耐震化にも取り組むなど、できる限りの対策を模索して講じていただきたい。

第8 決算の概要

1 予算の執行状況

(1) 収益的収支の状況

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減
水 道 事 業 収 益	1,033,325,000	997,209,872	△36,115,128
営業収益	986,633,000	945,982,903	△40,650,097
営業外収益	46,682,000	51,226,969	4,544,969
特別利益	10,000	0	△10,000

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
水 道 事 業 費 用	1,006,670,000	980,130,915	26,539,085
営業費用	976,330,000	951,852,772	24,477,228
営業外費用	28,340,000	28,278,143	61,857
予備費	2,000,000	0	2,000,000

収益的収入及び支出（税抜き）は、事業収益 911,216 千円、事業費用 912,819 千円、収益的収支は 1,602 千円の純損失となった。

事業収益については、給水収益 858,882 千円（構成比 94.26%）が、主なものである。

事業費用については、原水費 507,453 千円（構成比 55.59%）、配水及び給水費 72,699 千円、総係費 52,446 千円、減価償却費 260,668 千円、営業外費用 18,677 千円などである。

(2) 資本的収支の状況

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減
資 本 的 収 入	126,190,000	95,434,000	△30,756,000
企業債	120,000,000	90,000,000	△30,000,000
国県補助金	10,000	0	△10,000
工事負担金	10,000	0	△10,000
長期貸付金償還金	0	0	0
固定資産売却収入	10,000	0	△10,000
その他資本的収入	6,160,000	5,434,000	△726,000

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌 年 越 度 額	不 用 額
資 本 的 支 出	416,578,000	339,286,670	0	77,291,330
建設改良費	289,166,000	211,975,480	0	77,190,520
企業債償還金	127,412,000	127,311,190	0	100,810
その他資本的支出	0	0	0	0

資本的収入及び支出(税込み)は、資本的収入95,434千円、資本的支出339,286千円で、資本的収支の不足額243,852千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

資本的収入については、企業債90,000千円、その他の資本的収入5,434千円が主なものである。

資本的支出については、建設改良費211,975千円、企業債償還金127,311千円などである。主な建設改良工事は老朽管更新事業で、市道波津11号線他配水管布設替工事や市道細江152号線他配水管布設替工事などを行い、管路工事としては、総延長約1.1kmに渡り工事を実施した。

なお、令和4年度末の企業債借入金残高は、2,301,303千円で、前年度より37,311千円減額した。

2 業務量

項 目	年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
				増 減	比率(%)
行政区域内人口(人)		43,284	43,696	△412	99.06
給水区域内人口(人)		36,212	36,489	△277	99.24
計画給水人口(人)		44,500	44,500	0	—
現在給水人口(人)		36,176	36,453	△277	99.24
普及率(%)		99.90	99.90	0.00	100.00
給水件数(件)		16,100	16,075	25	100.16
年間総配水量(m ³)		6,044,740	6,168,908	△124,168	97.99
内 訳	榛南水道(m ³)	4,322,260	4,383,318	△61,058	98.61
	大井川広域水道企業団(m ³)	1,722,480	1,785,590	△63,110	96.47
配水能力(m ³ /日)		28,500	28,500	0	—
一日最大配水量(m ³)		17,536	17,525	11	100.06
一日平均配水量(m ³)		16,561	16,901	△340	97.99
有収水量(m ³)		4,497,281	4,608,712	△111,431	97.58
一日一人平均給水量(ℓ/日)		341	346	△6	98.33
無収水量(m ³)		302,237	308,445	△6,208	97.99
有効水量(m ³)		4,799,518	4,917,157	△117,639	97.61
有収率(%)		74.40	74.71	△0.31	99.59
有効率(%)		79.40	79.71	△0.31	99.61
施設利用率(%)		58.11	59.30	△1.19	97.99
最大稼働率(%)		61.53	61.49	0.04	100.06
負荷率(%)		94.44	96.44	△2.00	97.93
給水原価(円)		192.81	188.77	4.04	102.14
供給単価(円)		190.98	189.71	1.27	100.67

令和4年度の給水人口は、36,176人、給水件数16,100件、普及率99.90%である。また、給水原価は192円81銭、供給単価は190円98銭であった。

総配水量6,044,740m³、また有収水量は、4,497,281m³となった。有収率は、74.40%、施設利用率58.11%、最大稼働率61.53%、負荷率94.44%となった。

注記

- 1 千円単位で表示した金額は、原則として千円未満を切り捨てました。
このため差額又は合計金額が一致しない場合があります。
- 2 比率（％）は、原則として小数点以下第3位を四捨五入し表示しました。
このため合計比率が一致しない場合があります。また、決算書等、他の書類と一致しない場合もあります。